

第2回学校運営協議会 議事録

校名	府立和泉総合高等学校
校長名	松下 聡司

開催日時	令和 7年 11月 21日(金)14:00～16:00
開催場所	和泉総合高等学校 B棟2階 エンパワメントルーム
出席者(委員)	山内会長・上條副会長・加島委員・大野委員・木村委員・磯崎委員
出席者(学校)	松下校長・南事務部長・徳増教頭・岡崎教頭・館首席・小谷内生徒支援部主事 中津教務部主事・中村進路支援部主事・河内教諭・上田教諭・谷上教諭
傍聴者	なし
協議資料	本校の近況報告等
備考	

議題等(次第順)	
1. 開会の辞 2. 校長挨拶 全国高等学校総合学科教育研究大会(山口大会)参加報告 総合学科として、今後も探究活動の取り組みに重点を置きたい 3. 本校の近況報告等 ②進路状況について(進路支援部より) ③生徒状況について(生徒支援部より) ④教務関係について(教務部より) ⑤通級指導教室等の取組みについて(支援・通級委員会) ⑥広報活動等について(首席より) ⑦学習環境の整備について(事務室より) 4. 全体協議・質疑応答	
協議内容・承認事項等(意見の概要)	
「進路状況について」 ・離職率は数字だけでなく背景を読み解くことが重要。 ・自己分析力・言語化力を育てるため、履歴書やエントリーシートを授業で書かせる取組みの提案。 ・挫折経験を含めた多様な体験が、キャリア形成にプラスに働く。 ・学校現場では、卒業生の現状把握を行うことが望ましい(進学・就職の両方)。	
「生徒状況について」 ・ポジティブな取組み(地域活動、褒める文化、居場所づくり)は行動変容に効果的。 ・インセンティブを活用した海外での事例を参考に、新しい支援方法を検討する価値あり。	
「教務関係について」 ・欠席日数の「連続性・非連続性」の分析が重要。 ・不登校の要因は複合的で、学校に来る意義や居場所づくりがカギとなる。 ・自己評価や目標設定を授業に取り入れることが効果的。 ・転退学者を減らすため、不登校特例校の事例も参考にする。	
「通級指導教室等の取組みについて」 ・通級支援は高校でも成果が出ているが、頻度や体制等の課題あり。 ・毎日支援するには人的・予算的なサポートが必要であり、教員負担軽減策を検討する必要がある。	
「学習環境の整備について」 ・限られた予算の中、設備等の老朽化による修繕対応が課題。 ・本校は、府立高校内装改修の対象外であるため、現校舎を大切に使う意識づけが必要。 ・学習環境の改善は教育の質向上に直結するため、生徒の安全確保・学習環境整備を最優先に検討を継続。	

次回の会議日程	
日時	令和 8年 1月 23日(金)14:00～
会場	和泉総合高等学校 B棟2階 エンパワメントルーム